

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	コンビニ（店長）	・花火大会や祭りも開催される予定なので、来客数が増え、売上も上がるとみている。
	◎	乗用車販売店（販売担当）	・当店は観光地を控えた立地なので、観光業が数段良くなっている状況を見ているだけでも、2～3か月先は現状よりもっと良くなると思える。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、動きが出てきている。宿泊は過去最高の売上で、料飲部門も2018年比80%と戻り方が堅調である。宴会部門も6月の総会シーズンで好調に件数を伸ばしているが、1件当たりの人数が若干少ないため、売上としては2018年比70%で落ち着いている。とはいえ、新型コロナウイルス感染症によるキャンセルがなくなり、前向きな売上予測ができるようになってきたことは好材料である。
	○	商店街（代表者）	・前年は実施されなかった商店街のイベントが、夏から冬にかけて目白押しに企画されているので、来街者が増えるのではないかと期待している。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・宴会等の飲み物の受注が増えてきている。
	○	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の落ち着きと5類移行によって、化粧品売場での客へのタッチアップ再開によるアイテムの売上増加、また、婦人服や衣料品の売上回復が顕著になってきている。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大期間が長かったため、消費行動も連動して低迷が続いているようである。今後、従来以上に厚みのある様々な営業、集客対策を講じることで、徐々に客を店頭へと引き戻すことが可能だと考えている。
	○	コンビニ（経営者）	・夏場は客足も増え売上は上がるため、やや良くなる。
	○	コンビニ（店長）	・行動の通常化により、来客数は新型コロナウイルス感染症発生前の状態に戻っている。今後、夏祭り等も4年ぶりに開催される予定で、良い方向に向かう。
	○	衣料品専門店（統括）	・いよいよ夏祭りが開催されるという客の期待感がうかがえる。そろそろ準備をしなければというような、前年までなかった動きが出てきている。なかなかそろえようと思っても物がそろわない状態もあるが、気持ち的には祭りが近い。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・暑気払いや夏に向けてのイベント等が活発になってくるので、これから動きが出てくるのではと予想している。
	○	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症対策での行動自粛が徐々に減って、改善されている。具体的には、飲食店でのアクリル板や検温がなくなっている。
	○	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症発生前の受注に戻りつつある。
	○	旅行代理店（所長）	・ウクライナ問題や米国のデフォルトへの懸念等、不安要素はあるものの、今後、新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックが再発しない限り、順調に伸びていくのではないかと。
	○	旅行代理店（従業員）	・夏休みの需要も非常に多い。
	○	タクシー（経営者）	・昼、夜共に動きが良くなってきたので、この先も良くなる。
	○	通信会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行で、生活様式が新型コロナウイルス感染症発生前に近づくのではないかと。消費者の支出が増えて景気が上向きになることを期待している。
	○	通信会社（営業担当）	・夏のボーナス支給による一時的な消費増加はあるが、節約志向は当面続く恐れがある。
	○	テーマパーク（職員）	・個人や団体、訪日外国人客等、新型コロナウイルス感染症発生前の水準に向けて徐々に増加しているが、全国旅行支援終了の影響が出ないかと、心配している。
	○	ゴルフ練習場（経営者）	・外出の機会が増えている。
○	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染症の行動規制もなくなり、動きやすくなったため、消費行動につながるのではないかと。	
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・電気料金や食料品の値上げ等、ダブルで動きが抑えられている。イベントも復活するので、幾らか動きが良くなるのではないかと願っている。	

□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・国内外問わず、観光客の動きが活発化しており、観光業に携わる者にとって大変有り難い状況である。また、修学旅行や遠足等での訪問もあるので、非常に活気にあふれている。しかし、迎え入れる側の体制が整わず、せっかくの来客を売上増につなげられない状況が、多くの施設でみられている。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行で、人流は拡大しているものの、物価高に伴う消費マインドは依然低いままである。数か月では改善に至らない。
□	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染症発生前の日常生活が戻っているものの、これ以上良くなる傾向はない。
□	コンビニ（経営者）	・店舗前道路の土日の交通量から、新型コロナウイルス感染症収束後の消費行動パターンの変化を感じている。値上げも容認されつつあるが、客の選別の目は厳しくなっている。このまま景気回復を期待したいところだが、光熱費等の経費増加で、経営的には厳しさが続く。
□	衣料品専門店（販売担当）	・当店の顧客ターゲットの年配の方々が、社会環境のなかで安心安全を確保しながら、通常の生活ができる状況になっていると、一人一人が実感を持てれば、若干は人の流れが多くなると思う。残念ながら、まだもう少し時間が掛かりそうな気がしている。
□	家電量販店（営業担当）	・今年は梅雨入りが早くなる予測が出ている。エアコン、除湿機等の関連商材を強化し、キャンペーンを展開していく予定である。
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーの生産は、ここ2～3か月は安定している。ただし、その過半数は北米向けの輸出にあてられている。商業界では大規模小売店に客が集中し、正に独り勝ちの状態である。
□	乗用車販売店（従業員）	・受注が少なく受注残も減少傾向になっている。客の動向が車以外への消費に移ってきているように思われる。
□	自動車備品販売店（経営者）	・今一つムードに盛り上がりがないが、なぜ盛り上がらないのかが分からない。そのため、来月～2か月先はボーナス等支給月だが、期待は薄い。
□	住関連専門店（店長）	・ベースアップも企業の規模と職種により異なるため、ボトムアップしてはいないと感じている。
□	住関連専門店（仕入担当）	・前年を上回るカテゴリーとマイナスのカテゴリーは、今後も明確に色分けされる傾向が続くだろう。特に、値上げの影響が大きく、トータルプラスになる想定はできない。
□	その他専門店（総務担当）	・この先の見積依頼が少ない。
□	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門は夏に向けてイベント等もあり、予約も早めに受けているので、良い状況は変わらない。
□	都市型ホテル（総支配人）	・宿泊に関しては全国旅行支援が落ち着き、特需が薄れていく。その分、料飲部門で宴会等の予約が活発となってきており、ホテル全体では好調な状況が続くのではないかと。
□	タクシー運転手	・今までと変わらず、客が増えるとは思えない。
□	通信会社（経営者）	・高齢者が多い地域では、明らかに買い控えが起きている。
□	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の影響はなくなってきたので、今後は天候が景気に最も影響することになる。
□	競輪場（職員）	・新型コロナウイルス感染症が5類に変更となり、人の動きが多様化しているなか、その動向をしばらく注視する必要がある。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・良くなる兆しが見えない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・電気代への関心が高く、内窓などの遮熱効果が見込める商材への問合せが多い。ただし、盛夏を過ぎるとどうなるかは不透明な状況である。
▲	スーパー（総務担当）	・物価高騰に加え、地震等の災害も多く、全般には大きく変わらないのではないかと。
▲	スーパー（商品部担当）	・商圏内に新規オープン店舗が控えており、厳しくなることが予想される。
▲	一般レストラン（経営者）	・物価高が止まらず、納入業者からは6月から値上げする品目が多数あると言われている。さらに、電気代の上昇で、エアコンを使用した際の電気代などを考えると、当店の値上げは必須である。客がどこまでついてこられるかが心配である。
▲	一般レストラン（経営者）	・例年どおりなら梅雨に入るので、ここで少し下がる。

	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・電気料金を始め、各種料金の値上げが予定される等、コストアップが落ちてくにはもう少し時間が掛かるようである。結果、改善努力は続けても、収支悪化に歯止めをかけるのには、もう少し時間を要する。
	▲	都市型ホテル（支配人）	・近隣のビジネスホテルが、新型コロナウイルスの軽症感染者受け入れ施設を解除し、通常営業に戻るための影響でやや悪くなる。
	▲	通信会社（総務担当）	・現状に加え、毎年9月にモデルチェンジが行われる人気機種の違い控えて、7～8月は例年販売が減少する。
	▲	通信会社（局長）	・7月以降の電気代の値上げが要因だと思う。
	▲	美容室（経営者）	・物価は高止まりしており、前年より3割も上がった電気料金が、再び来月から上がる。日本経済はデフレからインフレに完全に変わっている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・コスト増加分の転嫁ができず、銀行の借入金利が上昇傾向にあるので、一段と厳しい状況を迎える予想である。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・一部では回復しているのかもしれないが、一般の客に関しては、悪くなる一方である。景気が良くならない限り、このような状態では無理である。
	×	家電量販店（店員）	・季節商材のエアコンが、天候次第でどれだけ伸びるかが鍵となる。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・飲食チェーン店を運営しているが、今でも急激な寒暖差があると、客の来店に密接な影響を及ぼすが、今夏はエルニーニョやラニーニャ現象が同時に発生するという話である。今までにないことで、同時発生すると厳しい猛暑が予想され、やはり購買は落ちる。また、最近では円安が進んで、1ドル140円台になってくると、原材料の価格が高止まりし、更に値上げをしなければならなくなる。給料が上がらずにいろいろな物価が上がる状況である。
企業 動向 関連	◎	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車向け部品では、取引先の生産ラインで対応しきれない仕事の応援生産が本格的に立ち上がる見込みである。今のところ、その他分野の仕事も減産計画は出ていない。
(北関東)	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今、いろいろな物が値上がりしているため、園芸用土が売れているのではないかと。今後もこの傾向は変わらないと思うので、景気は良くなる。
	○	金属製品製造業（経営者）	・季節的にも受注増加が予想される。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の生産計画台数は増産傾向にある。ただし、いまだに当月にならないと減産かどうか分からないため、今後の見通しは不透明である。増産になれば人材確保も必須となるが、募集してもなかなか集まらない。生産の安定もそうだが人材確保も今後の課題になりそうである。
	○	広告代理店（営業担当）	・旅行や飲食など、新型コロナウイルス感染症で打撃を受けた業種の客入りが良くなっており、広告宣伝費も少しずつ出るようになってきている。
	○	経営コンサルタント	・賃金増額改定や人材採用のための賃金上げの動きも散見され、少しずつ所得は上昇トレンドにある。地域経済が更に刺激されるのではないかと。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注件数、金額共に増加傾向にあり、収益も改善されると思う。また、商談件数も増加しており、取引先のマインドに変化がみられる。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・先行きの受注や販売量はいずれも変わらない。
	□	金属製品製造業（経営者）	・景気が良くなることを期待するが、何も良い材料はない。早く良くなることを願っている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・残念ながら、ものづくりに先行きの明るい情報や未来が見えてこない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・6～7月の物量を見ると、4月の3割減少程度で推移するような受注量なので、状況的にはかなり良くない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・主力製品の生産量は上向きに計画されているが、今までけん引してきた製品の一部に陰りもあり、景気としては変わらずに推移するのではないかと。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この数か月余り変化はない。取引先も10社くらいあるが、良いところ、悪いところが毎月交互にある状況なので、2～3か月先は全く分からない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症による行動自粛等は緩和されてきているが、あらゆる物の価格等が上がっている状態のため、変わらない。

	□	輸送業（営業担当）	・季節家電のエアコンや扇風機、また、除湿器、園芸用品等、前年並みの物量を確保予定である。しかし、ドライバーの労働時間制限が厳しくなって車両不足も発生し、手配が厳しくなりそうである。
	□	司法書士	・全体のなかで、相続登記の占める割合が多くなってきている。やはり、不動産の移動が始まらないと良くなることはないと考えている。
	□	社会保険労務士	・大手企業の夏のボーナス支給額は増加するだろうが、中小企業はそれほど増えそうにない。各地の人出は前年よりは良いだろうが、消費マインドはさほど変わらない。
	▲	不動産業（管理担当）	・円安の進行や来月から燃料への補助金が段階的に縮小するため、経費が上昇する要因ばかりである。個別に収益を見直している分が簡単に吹っ飛んでしまいそうである。
	×	建設業（開発担当）	・今期がスタートして1か月が経過したが、公共工事の発注額は前々年度比19%減で、当社も前期比10%減の売上なので、決算が厳しくなる。
	×	建設業（総務担当）	・年度始めということを加味しても動きが悪く、先行きは不安である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・全般的に人材不足ではあるが、自動車関連やサービス業等、業界を問わず、募集依頼数が増加傾向にある。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品関連の生産計画が高水準で、製造派遣人数も増員になるため、やや良くなる。
	○	人材派遣会社（従業員）	・人材の依頼が増える予定なので、やや良くなる。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・今後も、人材不足により賃金が上昇し、消費行動も増加すると思われる。
	□	職業安定所（職員）	・3か月前と比べて、前年同月からの求人増加率は、飲食、サービス業、医療、福祉で増加傾向が続いているものの、建設業では減少に転じている。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・ガソリン価格は落ち着くか若干下がると思われるが、電気料金等の値上げもあり、かなり節約ムードになってくる。購買力も、衣料品等は梅雨の状況次第であり、台風等の影響も出てくるとすれば、動きはある程度止まってくると思われるため、落ち込みも見込んでいる。建設や建築関係も季節的に若干延び延びになってくるものもあると思われる。
	▲	職業安定所（職員）	・物価高騰の世界的な流れが止まらない。先が見えない状態になっている。
	×	—	—